

川上ダム通信

2020
7
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!

https://twitter.com/jwa_kawakami



Vol. 179
Since 2005

ご意見・ご感想はこちらへ
e-mail: somu1@lily.ocn.ne.jp

川上ダム管理棟の工事が始まります! ～地域に親しまれる管理所を目指して～



管理棟の外観イメージ



多目的室の内観イメージ

川上ダム管理棟の工事がいよいよ始まります。

川上ダム建設事業における管理施設の設計では、周辺環境との調和、各施設の統一性などの景観バランスに配慮することをコンセプトに地域に親しまれる施設をめざしています。

将来にわたってダムに付属する施設である管理棟は、安全性・機能性を実現した上で、堤体のもつ大きなスケール感や自然景観などに調和させるとともに建設地である伊賀の特徴を取り入れることとし、周辺の自然景観の妨げとならないよう配慮し、低層の2階建てで計画しています。

外壁については、1階部分はダム本体と一体感を持たせるため、コンクリート打ち放し仕上げとし、2階部分は伊賀の街並みにみられる城下町を連想させる落ち着いたグレー色とし、屋上には周辺を眺めることができる展望スペースを設けています。

見学者に対しての説明会場などとして使用する多目的室には、床に三重県産の杉フローリング材を用いることを計画しており、ダム湖側に面して大きく確保した窓からはダム周辺の豊かな自然が眺められるようにしています。

また、ダム堤体建屋などの設計においても今回の管理棟の設計において検討したコンセプトを軸に計画を行い、素材や配色をそろえ、統一感のある景観となるように設計します。

右岸上流側の敷地に完成する予定で、^{みてちょーだい}観眺台から管理棟の工事の様子を見ることができます。管理棟の新築工事も安全第一で取り組んでまいります。

【工務課 山田 聖】

オオサンショウウオの生息状況を確認

巨大オオサンショウウオと1年ぶりの再会



今年も移転したオオサンショウウオの生息状況確認などのために、5月7日から5月14日（土日除く）の6日間にかけて川上ダムの上流域でオオサンショウウオ調査を行いました。

5月12日の調査では全長87cm、体重4300gの大きな個体が確認されました。この個体は平成28年に湛水区域内から移転された個体で、昨年の調査でも確認されており、約1年ぶりの再会となりました。昨年と比べて全長が約2cm、体重は約500g増加しており、元気に成長しているようです。

また、今回の調査では、約400個体のオオサンショウウオが見つかりました。昨年と概ね同様の確認数で、生息状況が保たれていると一安心です。

今後もオオサンショウウオ調査の際には、川の中や川沿いの道を調査員が歩いていますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

※オオサンショウウオ調査は文化庁の許可を得て実施しています。

【環境課 戎谷大和】



確認されたオオサンショウウオ（全長87cm）



オオサンショウウオ調査のようす（夜間）

“伊賀市ミュージアム青山讃頌舎”^{うたのいえ} 開館

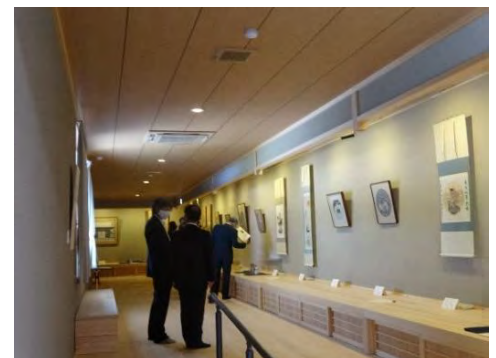
6月3日（水）、伊賀市別府（大村神社隣接）に、伊賀市初の公設美術館『伊賀市ミュージアム青山讃頌舎』が開館し、岡本市長をはじめ地元関係者の皆さま約40名によりオープニング式典が催されました。岡本市長は、「ようやく伊賀市にも公設の美術館が誕生した。地域の安らぎの場にしていきたい」とご挨拶され、新たな門出を祝福されました。

この美術館は、伊賀の地で創作活動をされていた水墨画家、故^{あきづき}穂月^{あきら}明さんにより建設された展示室と茶室からなる施設で、ご家族の方が運営をされていましたが、穂月さんが生前より「この施設を個人のものにはしない」という強い思いをお持ちだったことから、今回の伊賀市への寄贈に至りました。筆者には、穂月さんの思いを叶えられ心から喜ばれているご家族の姿が印象的でした。オープンを記念した『穂月明名品展・やすらう世界』において厳選された作品が展覧されています。穂月さんの作品はもちろん、建物や庭園、季節ごとの花々も美しく心地よい空間です。

伊賀市ミュージアム青山讃頌舎にご来場の際は、川上ダムにもお立ち寄り下さい。



地元関係者によるテープカット



檜造りの展示室

【用地課 伊美彰太】

常用洪水吐き設備の製作～設置から

コンクリート打設まで



川上ダムの常用洪水吐き設備は、放流管（1条）、主ゲート（1門）で構成されており、洪水時にダムから放流する水量を一定に調節するための設備です。今月号では、この常用洪水吐き設備がどのような工程で設置されているかをご紹介します。

放流管は、入口部が幅約3.8m、高さ約4.4mの管で、入口部がラッパのような形をしていることが特徴の一つです。

主ゲートは、幅約2.3m、高さ約2.7mあり、扉体が上下しやすいように扇形で作られていることが特徴の一つです。

放流管および主ゲートは、工場において鋼材の曲げ加工や溶接などを行い、パーツごとに製作します。各パーツは工場では仮組みされ、品質に問題がないか検査し、合格後にトレーラに積める大きさ・重さになるよう分割し塗装を行った後、川上ダムへ搬入します。

現場では、タワークレーンによって川上ダム堤体上に運び込まれ、組立後に溶接します。放流管の溶接完了後はコンクリートを打設し、主ゲートはその放流管の出口側に設置します。



常用洪水吐き放流管の全景



ダム堤体上で溶接される常用洪水吐き放流管

★常用洪水吐き設備の工程★

◆放流管

入り口部

出口部

① 工場仮組み

② 現場据付

③ コンクリート埋設

◇主ゲート

① 工場塗装

② 現場搬入

③ 現場据付

現場でも新型コロナウイルス対策を徹底しています

世界中で感染が広まっている新型コロナウイルスに対処するため、川上ダムの建設現場では、作業時のマスクの着用、朝礼や打合せ時の2mの間隔確保、移動車内や現場作業所内の換気、重機運転室の操作レバーや休憩施設のこまめな消毒、休憩施設利用時のシフト割りによる時間管理など、「密集・密接・密閉」の回避を基本とした様々な取り組みを行っています。

このように新型コロナウイルス対策を徹底し、現場で働いている作業員の命や安全を第一に確保しながら、着実に工事を進捗させていきます。



新型コロナウイルス対策の掲示看板



間隔をあけて朝礼



現場作業所内作業時に換気



重機運転室の消毒

~本體工事の進捗状況~

		■	完了	■	施工中	■	未実施
転流工 H30. 4▼	基礎掘削 H30. 9▼	堤体打設・基礎処理 H31. 4▼	▼現在	試験湛水 ▼R3. 10	完成! (R5. 3予定)		
仮排水路 トンネル	仮締切工	堤体打設進捗率46.1% 基礎処理進捗率16.5% (5月末時点)					

【工事課 藤澤大志】

観眺台の開放再開について

みてちょうだい
6月1日(月)より、「WELCOME川上ダム観眺台」の一般開放を再開しました。マスクの着用など感染防止対策をして、観眺台をご利用ください。
みてちょうだい
なお、情報館の閉鎖は当面の間継続いたします。ご理解いただきますようお願いいたします。

川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を予定しています。

詳しくは当建設所HPをご覧ください。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、募集人数を制限しています。

【第20回】令和2年7月19日(日) (満員御礼)

【第21回】令和2年8月23日(日)

(【第21回】は、7月1日より募集開始します!)

編集後記

梅雨の季節、いかがお過ごしでしょうか。
筆者は、雨に強いスニーカーを手に入れました。
これで、外出する際に雨が降っても大丈夫です。
また、梅雨が明ければ、熱中症に注意が必要な時期となります。筆者は日頃からスポーツドリンクを飲み、こまめな水分と塩分の摂取を心がけています。
伊賀市内でも、お店に活気が戻りつつあります。
川上ダムへ見学にお越しの際は、ウイルス対策と熱中症対策をお願いします。

【広報誌発行事務局】

編集長	淵上 (所長)	
デスク	堀口 (総務課長)	中野 (工務課長)
記者	山口 (総務課)	近藤 (用地課)
	北爪 (調査設計課)	戎谷 (環境課)
	山田 (工務課)	下園 (機械課)
	渡邊 (工事課)	